

令和元年度 共同研究等一覧



共同研究

本学研究者	相手方	研究題目	開始日	終了日
難波謙二	福島県内水面水産試験場	福島県内の内水面漁業復興に向けた陸水域における放射性物質の移行・濃縮状況の把握	平成31年4月1日	令和2年3月31日
イスマイル・ラハマン	ジーエルサイエンス株式会社 取締役社長 長見善博	分析資料の自動分離システムの開発	平成31年4月1日	令和2年3月31日
難波謙二	福島県水産海洋研究センター 所長 涌井邦浩	福島県の漁業復興に向けた海洋生態系における放射性物質の移行・濃縮状況の把握	令和1年5月22日	令和4年3月31日
高田兵衛	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構	沿岸域における放射性物質の量的収支に関する研究	令和1年7月1日	令和2年3月31日
難波謙二	福島県水産資源研究所 所長 石田敏則	福島県の漁業復興に向けた海洋生態系における放射性物質の移行・濃縮状況の把握	令和1年7月1日	令和4年3月31日
石庭寛子	国立大学法人広島大学 学長 越智光夫	指標生物を用いた放射性物質の生態系への影響研究	令和1年7月26日	令和2年3月31日
脇山義史	国立大学法人筑波大学 分任契約担当役 研究担当副学長 木越英夫	森林および水系における放射性物質の流出測定及びモデル化	令和1年7月26日	令和2年3月31日
難波謙二	国立大学法人東京海洋大学 研究担当役 事務局長 菅米地 令	福島沖の浮遊物中に見られる高線量粒子	令和1年7月26日	令和2年3月31日
塚田祥文	国立大学法人長崎大学 学長 河野茂	東電福島第一原子力発電所事故の影響を受けた地域における里山の高度管理と有効活用	令和1年7月26日	令和2年3月31日
難波謙二	福島県水産海洋研究センター 所長 涌井邦浩	福島県の漁業復興に向けた海洋生態系における放射性物質の移行・濃縮状況の把握	令和1年5月22日	令和4年3月31日
高田兵衛	公益財団法人海洋生物環境研究所 理事長 香川謙二	福島沿岸における低レベル放射性Csとトリチウムの定量と動態把握に関する研究	令和1年12月1日	令和2年3月31日

受託研究

本学研究者	相手方	研究題目	開始日	終了日
難波謙二	国立研究開発法人科学技術振興機構	チェルノブイリ災害後の環境管理支援技術の確立	平成29年4月1日	令和3年3月31日
難波謙二教授	独立行政法人 日本学術振興会 理事長 里見進	平成31年度二国間交流事業共同研究・セミナー ・原発事故の影響を受けた河川流域での放射性核種の移動量評価と将来予測（ロシア 難波） ・福島第一原発事故による汚染地域におけるアカマツの放射線影響メカニズムの解明（ロシア ヨシエニコ） ・福島事故後の植物に観察される形態異常の研究：エピジェネティクスが果たす役割は？（ベルギー ヨシエニコ）	平成31年4月1日	令和2年3月31日
塚田祥文	農研機構・農業環境変動研究センター（営農促進プロコンソ）	・避難指示解除に向けた水稲栽培の安全性および生産性評価 ・放牧を基軸とした省力的な畜産展開	平成31年4月1日	令和2年3月31日
塚田祥文	農林水産省	有機物が放射性セシウム動態に及ぼす影響の解明	令和1年5月30日	令和2年3月23日
環境放射能研究所	国立大学法人広島大学 学長 越智光夫	環境放射能の動態と影響を解明する先端的研究	平成31年4月1日	令和2年3月31日
環境放射能研究所	国立大学法人筑波大学 分任契約担当役 研究担当副学長 木越英夫	環境放射能の動態と影響を解明する先端的研究	平成31年4月1日	令和2年3月31日
環境放射能研究所	国立大学法人東京海洋大学 契約担当役事務局長 堀内敦	環境放射能の動態と影響を解明する先端的研究	平成31年4月1日	令和2年3月31日
環境放射能研究所	国立大学法人長崎大学 学長 河野茂	環境放射能の動態と影響を解明する先端的研究	平成31年4月1日	令和2年3月31日

奨学寄附金・助成金

本学研究者	相手方	研究題目	受入日	開始日（助成）	終了日（助成）
石庭寛子	フロンティア・ラボ株式会社 代表取締役 渡辺 忠一	研究教育活動に関する助成金	令和1年12月17日		